



SCARTS Lecture Series

会場

SCARTSコート

主催

札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)

後援

[Vol.1~6] for Artist Vol.1, 2 札幌市

[Vol.1~4] 北海道、札幌市教育委員会

[Vol.2] 公益財團法人北海道文化財団

入場料

無料 ※情報交換会は有料

知識やスキル、技術を学ぶ
文化事業やアーティスト活動に関する

SCARTSでは、地域の文化事業やアーティスト活動に関わる方や、興味のある方を対象に、多彩な講師から実践的な知識やスキルを学ぶ講座を定期的に開催しています。講座終了後には情報交換会を開催し、講師や参加者同士の交流を図っています。さまざまな方に参加していただき、このレクチャーで得たものを、参加者がそれぞれの活動に生かせるよう、レクチャーのテーマも多岐にわたっています。

vol.1

開館記念シンポジウム「文化がつくる、地域のアイデンティティ」

日時 2018年11月11日(日) 14:00~18:00

基調講演／コメンテーター 青柳正規(前文化庁長官／山梨県立美術館館長)

パネリスト 漢幸雄(あさひサンライズホール館長)

吉里演子(東川町文化ギャラリー学芸員／東川町写真の町課職員)

柴田尚(NPO法人S-AIR代表／北海道教育大学岩見沢校教授)

モデレーター 吉崎元章(札幌文化芸術交流センター SCARTS プログラムディレクター)

開館を記念し、地域のアイデンティティを形成する文化の可能性について考えるシンポジウムを開催しました。

第1部の青柳正規氏による基調講演では、「文化の総点検」「再構築」をキーワードに、地域に潜んでいる魅力をもう一度磨き、住民が誇りや自信を取り戻すような取り組みの重要性について、国内外の多くの事例を挙げながら、お話しいただきました。

第2部では、北海道内の地域に根ざした文化芸術活動の事例として、あさひサンライズホール(士別市)のような小さなまちの小さなホールだからこそできる特色ある事業や、「写真の町」としてまち全体の魅力を高めてきた東川町の取り組み、S-AIRによるレジデンスを通して札幌と世界を結ぶ活動をそれぞれ紹介していただきました。

全体討議では、そうした活動が地域単位でのコミュニケーションや思い出づくりにつながっていること、事業を続ける中での住民の意識の変化、地域の座標軸を拓げる必要性などについて話し合われました。そこから浮かび上がってきたのは、はじめは地域との関係性が薄い事業であっても、継続する中で新たな文化やアイデンティティが生まれてくること、また、北海道各地の物語性を大切にしながら多様性を築き上げていけば、さまざまなものが生まれてくる可能性があるということでした。

vol.2

アートを届ける・人を育む、文化事業企画・運営の仕事

日時 2019年1月10日(木) 14:00~17:00

講師 村山和佳子(公益財団法人北海道文化財団チーフマネージャー)

聞き手 樋泉綾子(札幌文化芸術交流センター SCARTS キュレーター)

道民の自主的な文化活動の支援、文化鑑賞機会の拡充、さらには人材の育成等、幅広い文化的振興に関する事業を行っている北海道文化財団のチーフマネージャー・村山和佳子氏を講師に迎え、文化事業の企画や運営についてのレクチャーを行いました。これまでの事業の記録映像などをもとに、アーティストと地域住民、大人と子どもが同じ目線で楽しみながらアートを「体感」するために工夫し企画を設計することや、文化事業を企画するうえで重要なコーディネーターの役割、ワークショップを行うアーティストを選定する際のポイントなどを詳しくお話しいただきました。

vol.3

“未来”から逆算する、公立文化施設の広報戦術

日時 2019年2月21日(木) 14:00~17:00

講師 長野隆人(いわき芸術文化交流館アリオス広報グループチーフ)

音楽・演劇等の舞台公演や、学校や福祉施設へのアウトリーチ活動、人材育成のためのプログラムなど幅広い事業を展開している福島県いわき市の文化施設、いわき芸術文化交流館アリオスより、広報グループチーフの長野隆人氏を講師に迎え、広報に関するレクチャーを行いました。SNSやブログ、印刷物などの各広報媒体を、開催する事業の特質に合わせて効果的に連動させた、アリオスでの広報活動の具体例を挙げながら、単に公演を実施するだけではなく、地域の課題と向き合い、市民と協働しながら施設の機能を広げていく未来を見据えた取り組みについてご紹介いただきました。

vol.4

アートを支える組織のためのファンドレイジング概論

日時 2019年3月20日(水) 14:00~17:00

講師 金谷重朗(株式会社kino+international／NPO法人東京フィルメックス実行委員会／早稲田大学文学部非常勤講師)

「映画のつくり手を育てる」映画祭として、創造性にあふれ、多様性に富んだ映画のつくり手を数多く紹介している国際映画祭「東京フィルメックス」の運営や若手育成事業を手掛け、准認定ファンドレイザーでもある金谷重朗氏を講師に迎え、文化芸術組織の運営において求められるファンドレイジングの基礎知識と実例を学ぶレクチャーを行いました。ファンドレイジングを行ううえでは、明確かつわかりやすいミッションを定めることや自らの属する組織を客観的に見つめる視点が必要であることが示され、実在する組織の「強み」と「弱み」について意見交換を行うグループワークも行いました。

※肩書きは開催当時のもの

vol.5

文化事業を評価するための統計分析入門～アンケートを有効活用しよう～

日時 2019年8月7日(水) 18:00～20:30

講師 福原崇之(北海道教育大学岩見沢校 芸術・スポーツビジネス専攻 スポーツ経済学研究室 准教授)

さまざまなデータを用いてJリーグの経営分析などをしている福原崇之氏を講師に迎え、統計分析の入門レクチャーを行いました。アンケートなどのデータを、印象に左右されずに正しく分析し、利用するための効果的なプロセスについて、スポーツにおけるデータ活用の事例紹介を交えてお話しいただきました。

vol.6

座談会「アートセンターの未来」

日時 2020年2月24日(月・休) 14:00～17:00

パネリスト 加藤義夫(宝塚市立文化芸術センター館長／キュレーター／美術評論家)

山本麻友美(京都芸術センター チーフプログラムディレクター)

芦立さやか(Arts Tropical主宰／アートコーディネーター)

酒井秀治(株式会社SS計画代表取締役／まちづくりプランナー)

モデレーター 吉崎元章(札幌文化芸術交流センター SCARTS プログラムディレクター)

開館1周年を記念し、これから時代のアートセンターについて考える座談会を開催しました。第1部では、SCARTSの設立経緯やこれまでの活動について報告したのち、全国各地の特徴的なアートセンターやアートスペース、文化事業に関わっている4人のパネリストが、それぞれの活動について紹介しました。SCARTSでのプロジェクト「Collective P」のファシリテーションから見えた、公共空間でのプロジェクトの可能性や、開館20年を迎えた京都芸術センターのこれまでの活動、沖縄に個人で立ち上げたアートスペースArts Tropical、2020年のオープンを控えた宝塚市立文化芸術センターのビジョンなど、それぞれの活動のスタンスやこれからについて詳しく語られました。

第2部では、各プレゼンテーションから共通して浮かび上がったアートセンターの課題や可能性について、テーマを設けながら話し合いました。アートセンターにおいて欠かせない機能、ネットワーク化の必要性、有効なアーティスト支援、文化芸術活動を支える人材の育成、公立の施設としての平等性と先進性のバランス、市民やアーティストに親近感を抱いてもらうために大切にすべきことなどについて、活発に意見が交わされました。

※この座談会は、当初、定員100人のシンポジウムとして開催することを予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、急遽非公開の座談会形式にて開催。座談会の模様はSCARTSのウェブサイトにて公開している

SCARTSレクチャーシリーズ for ARTIST

Lecture Series for Artist

2019年からスタートした新シリーズ。札幌を拠点とするアーティストやアーティストを目指す人を対象に、アーティストとして生きていくために必要な知識や、作品制作・展示に役立つスキルを学ぶ実践的なレクチャーを行っています。

vol.1

活躍の場を広げたい! アーティストのためのセルフプロデュース術

日時 2019年6月22日(土) 14:00～17:00

講師 山口裕美(アートプロデューサー／YY ARTS 代表)

アートプロデューサーとして活躍する山口裕美氏によるレクチャーを行いました。現代アートの定義や魅力、今の日本における美術を取り巻く状況の問題点、展覧会を開く際や作品を販売するうえでの注意点などを、多くのエピソードを交えながら幅広くご紹介いただきました。また、現代を生きるアーティストが活動の場を広げるために効果的なセルフプロデュース術として、味方を増やしていくことなど実践的で前向きな方法も示されました。

vol.2

作品の見え方が変わる! アーティストのための展示スキル相談室

日時 2019年7月5日(金) 18:30～20:30

講師 佐野誠(展覧会施工技術会社 スーパー・ファクトリー代表)

全国各地の芸術祭や国際展などにおいて、彫刻・インスタレーション・映像など多種多様な作品設置を手掛けてきた、展覧会施工技術会社 スーパー・ファクトリーの佐野誠氏によるレクチャーを行いました。佐野氏がこれまで手掛けてきた作品の制作やインストールについての紹介と共に、作品展示を意図した通りに仕上げるための具体的な展示スキルが紹介されました。参加者から事前に募った会場設営、作品設置、メンテナンスおよび運搬などに関するさまざまな質問や相談にも、一つひとつ具体的な解決方法を示していただきました。